

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」(昭和40年法律第109号)により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和3年12月に「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し(第2回)」を公表した(詳細は2022年2月号参照)。

令和3砂糖年度(10月～翌9月)の見通し

【砂糖】

総消費量：176万6000トン(前回見通しから9000トン減)

総供給量：176万2000トン(同6000トン減)

【加糖調製品】

消費量および供給量：46万トン(同4000トン増)

【異性化糖】

消費量および供給量：79万1000トン(同2万トン減)

表1 令和3砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

		令和2砂糖年度 (実績)	令和3砂糖年度				合計	
			10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,710	456.3	404.2	435.3	434.2	1,730	
	含みつ糖	35	7.2	11.6	9.5	7.6	36	
	合計	1,745	463.5	415.8	444.8	441.8	1,766	
供給量	国内産糖	分みつ糖	772	359.7	375.4	46.2	-	781
		含みつ糖	10	0.7	6.8	3.4	-	11
		小計	782	360.4	382.2	49.6	-	792
	輸入糖	分みつ糖	1,025	248.0	134.7	300.6	278.2	961
		含みつ糖	8	1.7	3.4	2.1	0.9	8
		小計	1,032	249.7	138.1	302.7	279.1	970
	合計	分みつ糖	1,797	607.7	510.1	346.8	278.2	1,743
		含みつ糖	18	2.4	10.2	5.5	0.9	19
		小計	1,815	610.1	520.3	352.3	279.1	1,762
期末在庫		429	556.0	660.4	567.9	405.2	405	

資料：農林水産省「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し(第2回)」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和3砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

(単位：千トン)

	令和2砂糖年度 (実績)	令和3砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	460	121.2	111.4	116.6	110.9	460
供給量	460	121.2	111.4	116.6	110.9	460

資料：農林水産省「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し(第2回)」

注1：改正糖価調整法(平成30年施行)に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量(財務省貿易統計より算出)を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和3砂糖年度の消費量は、令和2砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和3砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	令和2砂糖年度 (実績)	令和3砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	750	170.8	171.0	234.2	215.4	791
供給量	750	170.8	171.0	234.2	215.4	791

資料：農林水産省「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

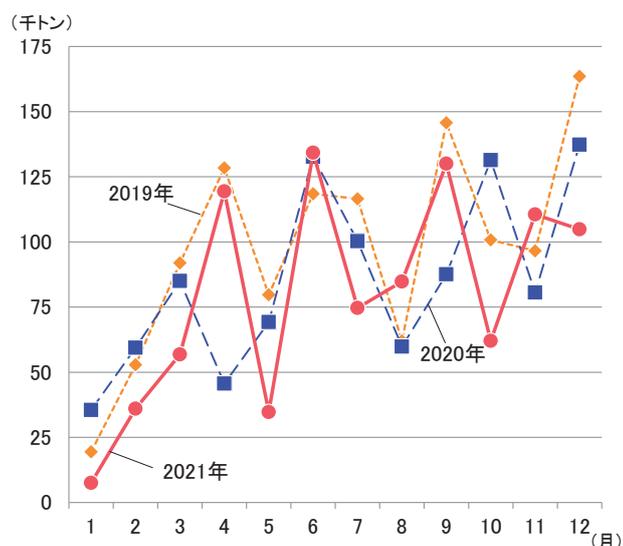
12月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2021年12月の甘しや糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、10万4804トン（前年同月比23.7%減、前月比5.2%減）であった（図1）。

輸入先国は甘しや糖・分みつ糖については輸入実績が無く、甘しや糖・その他については豪州で、国別の輸入量は次の通りであった（図2）。

豪州 10万4804トン
（前年同月比23.7%減、前月比5.2%増）

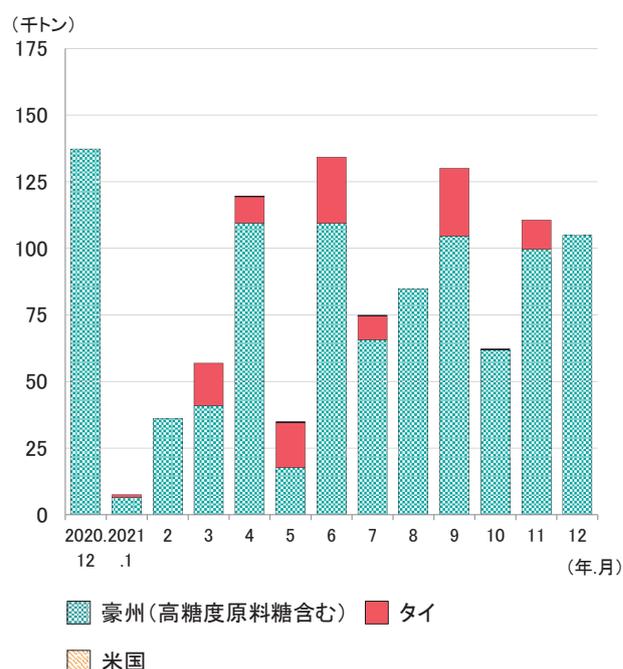
図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

また、2021年1～12月の甘しや糖・分みつ糖および甘しや糖・その他の輸入量は、95万5496トン（前年比7.0%減）であった（図3）。

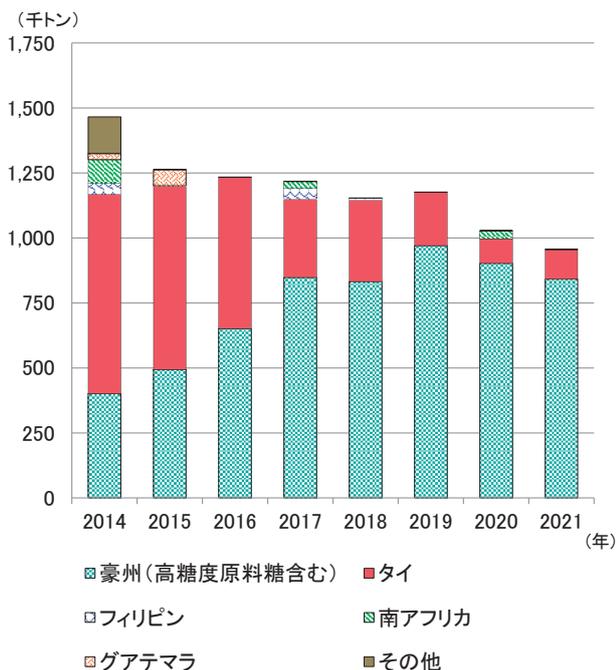
輸入先国は豪州、タイおよび米国の3カ国で、国別の輸入量は次の通りであった。

豪州 84万1289トン
（前年比6.8%減）

タイ 11万4145トン
（同20.3%増）

米国 62トン
（同8.8%増）

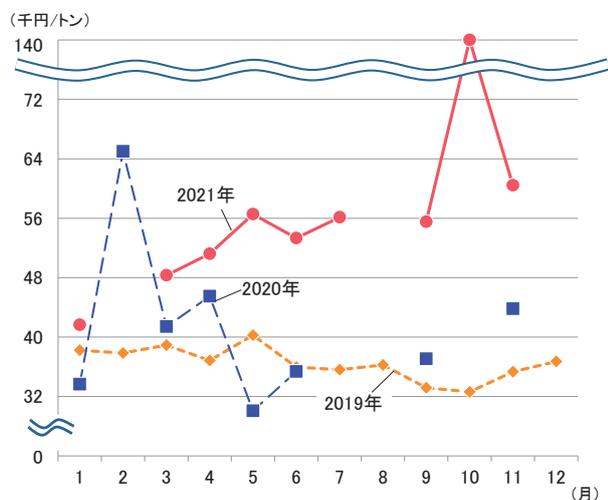
図3 粗糖の年別国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

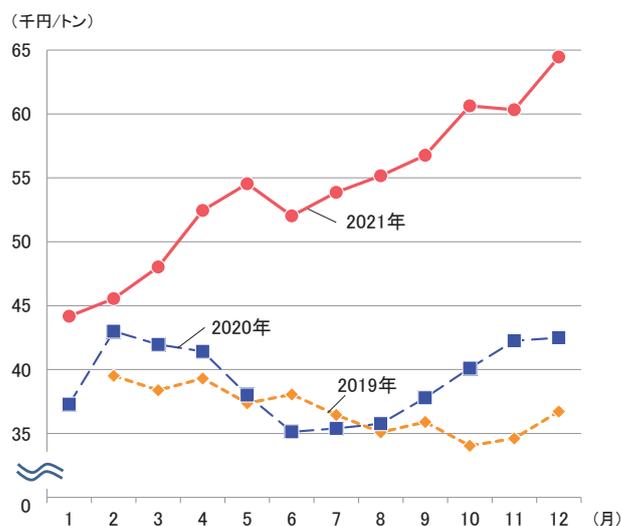
2021年12月の甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、6万4466円（前年同月比51.7%高、前月比6.8%高）であった（図5）。

図4 粗糖(HSコード1701.14-110)の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2020年7月、8月、10月、12月、2021年2月、8月および12月は輸入実績なし。

図5 高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2019年1月は輸入実績なし。

【含みつ糖の輸入動向】

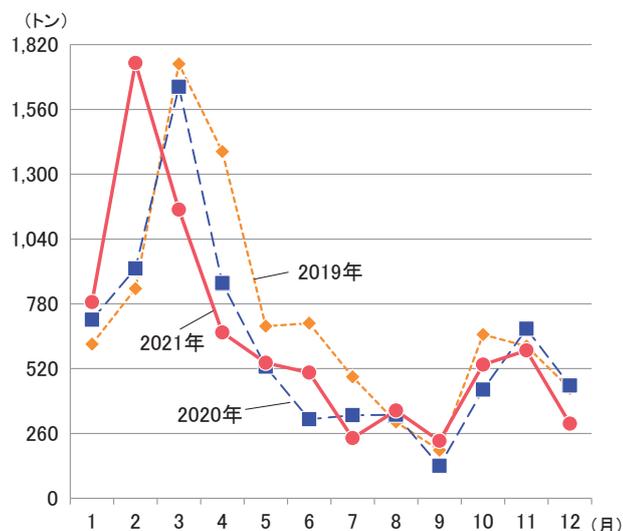
12月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2021年12月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、299トン（前年同月比33.8%減、前月比49.6%減）であった（図6）。

輸入先国は中国、フィリピン、タイおよびブラジルの4カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図7）。

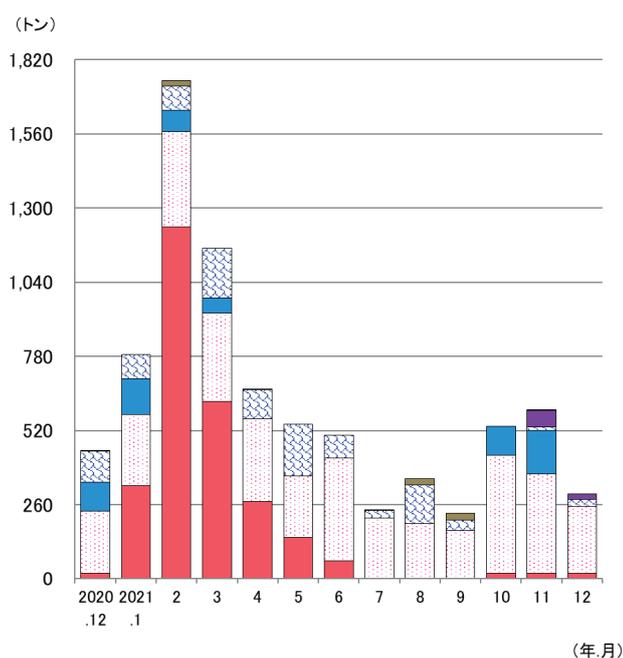
中国	235トン
（前年同月比8.3%増、前月比32.3%減）	
フィリピン	24トン
（同78.0%減、同84.6%増）	
タイ	21トン
（前年同月同、前月同）	
ブラジル	19トン
（前年同月輸入実績なし、前月比66.7%減）	

図6 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図7 含みつ糖の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

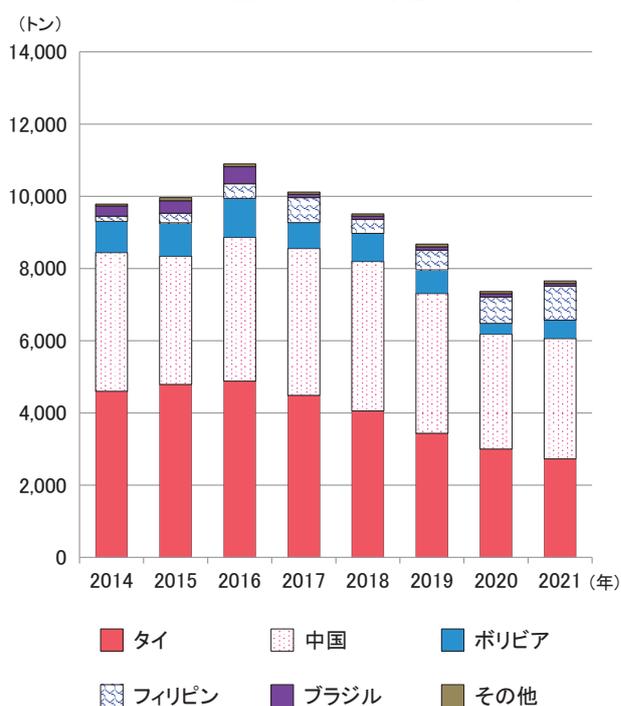
また、2021年1～12月の含みつ糖の輸入量は、7654トン（前年比4.0%増）であった（図8）。

輸入先国は中国、タイ、フィリピン、ボリビアおよびブラジルなど9カ国で、国別の輸入量は次の通

りであった。

中国	3331トン （前年比4.7%増）
タイ	2728トン （同9.0%減）
フィリピン	940トン （同28.9%増）
ボリビア	509トン （同69.7%増）
ブラジル	76トン （同20.0%減）
コスタリカ	40トン （同2.0倍）
モーリシャス	20トン （前年同）
インド	9トン （前年比3.0倍）
パキスタン	1トン （前年輸入実績なし）

図8 分みつ糖の年別国別輸入量の推移



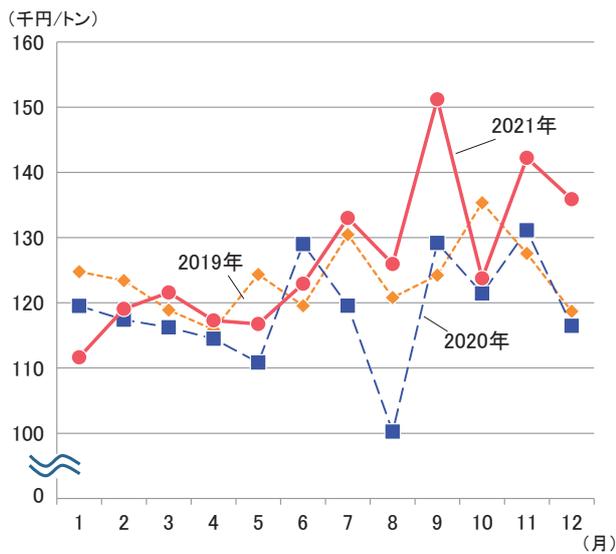
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2021年12月の1トン当たりの輸入価格は、13万5903円（前年同月比16.7%高、前月比4.5%安）であった（図9）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国	11万9957円
（前年同月比8.8%高、前月比5.4%安）	
フィリピン	23万1167円
（同83.8%高、同0.1%安）	
タイ	10万857円
（同13.0%高、同0.4%高）	
ブラジル	23万9789円
（前年同月輸入実績なし、同0.6%安）	

図9 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

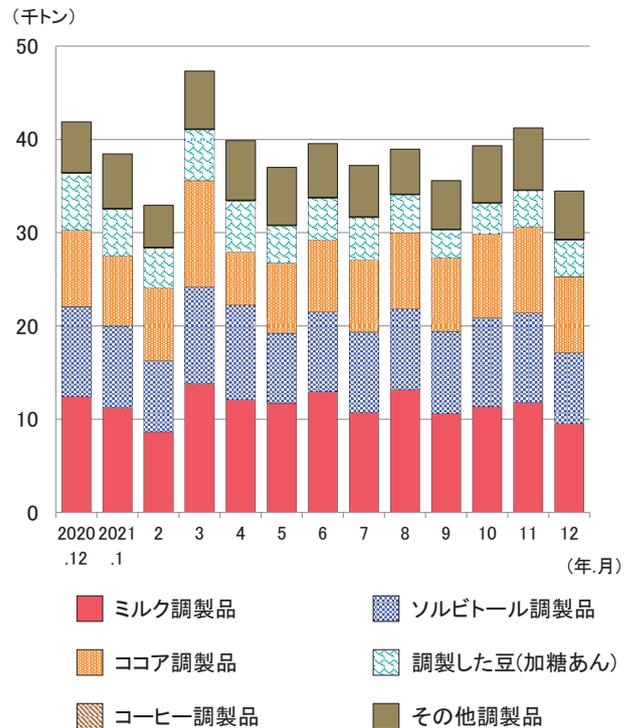
【加糖調製品の輸入動向】

12月の加糖調製品の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2021年12月の加糖調製品の輸入量は、3万4464トン（前年同月比17.7%減、前月比16.4%減）であった（図10）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図10 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：各品目のHSコードは、次の通り。
ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213
コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246
調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199
ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284
ソルビトール調製品：2106.90-510
その他調製品：2008.99-218、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品 品目別輸入量（12月）

（単位：トン）

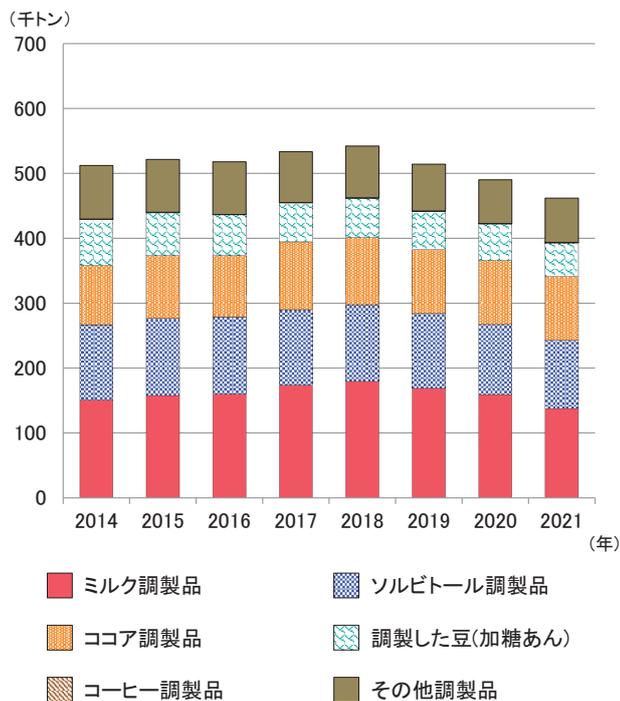
区分	輸入量	前年同月比 (増減比)	前月比 (増減比)
ミルク調製品	9,535	▲23.2%	▲19.0%
ソルビトール調製品	7,610	▲21.2%	▲21.2%
ココア調製品	8,148	▲0.9%	▲10.9%
調製した豆(加糖あん)	3,914	▲35.8%	▲0.7%
コーヒー調製品	85	21.2%	19.8%
その他調製品	5,173	▲4.6%	▲22.2%
合計	34,464	▲17.7%	▲16.4%

資料：財務省「貿易統計」
注：端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

また、2021年1～12月の加糖調製品の輸入量は、46万1905トン（前年比5.8%減）となった（図11）。

品目別の輸入量は、表5の通りであった。

図11 加糖調製品の年別品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは次の通り。

【2018年12月まで】

ココア調製品：1806.10-100、1806.20-111、1806.20-190、1806.32-211、1806.90-211

コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-190、2005.51-190

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2101.20-246、2106.10-219、2106.90-251、2106.90-281、2106.90-282、2106.90-590

【2019年1月から】

ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213

コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2008.99-218、2101.20-246、2106.10-219、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.90-590

表5 加糖調製品 品目別輸入量（2021年）

（単位：トン）

区分	輸入量 （トン）	前年比 （増減比）
ミルク調製品	137,645	▲13.4%
ソルビトール調製品	105,613	▲2.3%
ココア調製品	97,876	▲0.9%
調製した豆（加糖あん）	51,664	▲8.6%
コーヒー調製品	837	45.9%
その他調製品	68,269	1.7%
合計	461,905	▲5.8%

資料：財務省「貿易統計」

注：端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

3. 異性化糖の移出動向

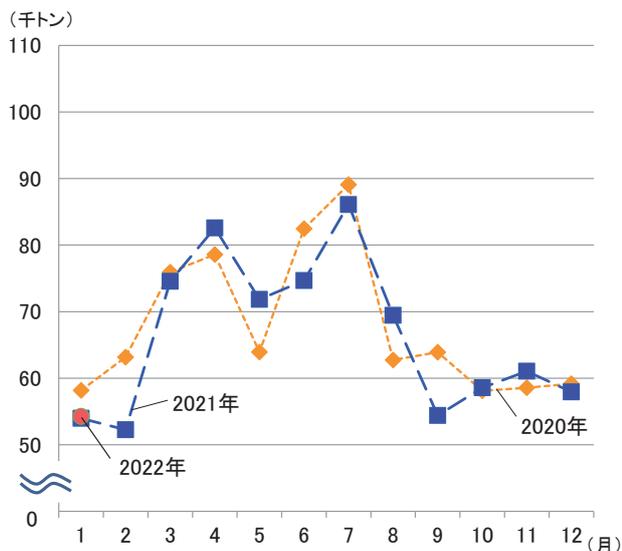
1月の移出量は前年同月からわずかに増加

2022年1月の異性化糖の移出量は、5万4246トン（前年同月比0.5%増、前月比6.4%減）であった（図12）。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった（図13）。

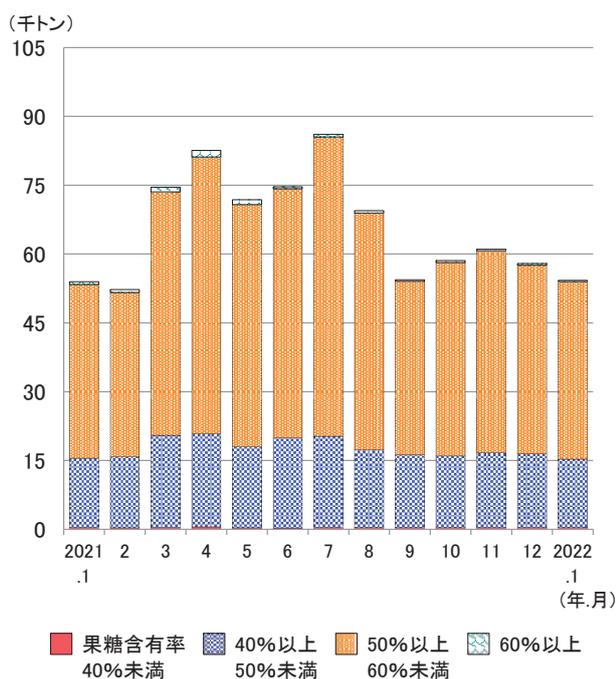
果糖含有率40%未満	356トン
（前年同月比14.0%減、前月比17.4%減）	
同40%以上50%未満	1万4949トン
（同1.0%減、同7.1%減）	
同50%以上60%未満	3万8664トン
（同2.2%増、同5.8%減）	
同60%以上	276トン
（同54.1%減、同25.3%減）	

図12 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図13 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖は前月から6円程度値上がり

1月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京	1キログラム当たり198～205円
大阪	同198～205円
名古屋	同202～208円
関門	同202～208円

上白糖（小袋）

東京	1キログラム当たり210～219円
大阪	同213～219円

本グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり203～210円
大阪	同203～210円
名古屋	同207～213円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり198～205円
大阪	同198～205円
名古屋	同200～206円

1月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり146～147円

果糖分55%もの

同152～153円

【小売価格】

1月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で43.5円

KSP-POSデータ(全国535店舗)によると、スーパーにおける1月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、200.4円（前年同月差9.4円高、前月差1.3円高）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かった関東などとの価格差は43.5円であった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は、次の通りであった(表6)。

(注) 地域の内訳は、次の通りである(以下同じ)。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表6 上白糖の地域別平均小売価格(1月)

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	217.5	18.8	2.2
東北	214.4	18.7	9.9
関東など	181.6	3.8	0.1
首都圏	187.6	▲0.1	▲5.4
中部	190.6	8.2	3.9
関西	200.4	6.0	1.5
中国・四国	225.1	19.9	0.8
九州・沖縄	193.8	5.3	2.4
全平均	200.4	9.4	1.3

資料：農畜産業振興機構調べ(原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉)

1月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で70.1円

KSP-POSデータ(全国535店舗)によると、スーパーにおける1月のグラニュー糖小袋(1キログラム)の平均小売価格は、252.9円(前年同月差9.9円高、前月差2.6円高)であった。最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は70.1円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった(表7)。

表7 グラニュー糖の地域別平均小売価格(1月)

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	217.6	15.3	▲2.2
東北	287.7	13.9	▲0.2
関東など	256.7	3.8	▲0.0
首都圏	261.7	10.9	9.3
中部	257.6	6.1	4.5
関西	241.0	10.6	▲0.1
中国・四国	267.8	10.1	0.8
九州・沖縄	226.4	10.6	3.1
全平均	252.9	9.9	2.6

資料：農畜産業振興機構調べ(原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉)

1月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で59.3円

KSP-POSデータ(全国535店舗)によると、スーパーにおける1月の三温糖小袋(1キログラム)の平均小売価格は、238.1円(前年同月差5.4円高、前月差3.1円安)であった。最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は59.3円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった(表8)。

表8 三温糖の地域別平均小売価格(1月)

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	238.3	13.9	▲3.4
東北	267.9	20.5	6.5
関東など	220.1	9.4	0.2
首都圏	224.4	6.2	1.4
中部	240.2	10.6	6.1
関西	237.6	8.8	6.1
中国・四国	263.4	12.4	▲0.3
九州・沖縄	208.6	▲45.4	▲53.8
全平均	238.1	5.4	▲3.1

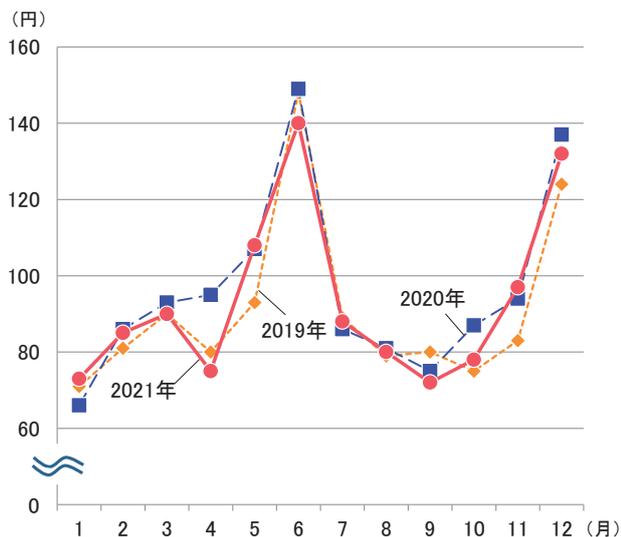
資料：農畜産業振興機構調べ(原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉)

【購入金額および購入量】

12月の砂糖の支出金額は前年同月からやや下落

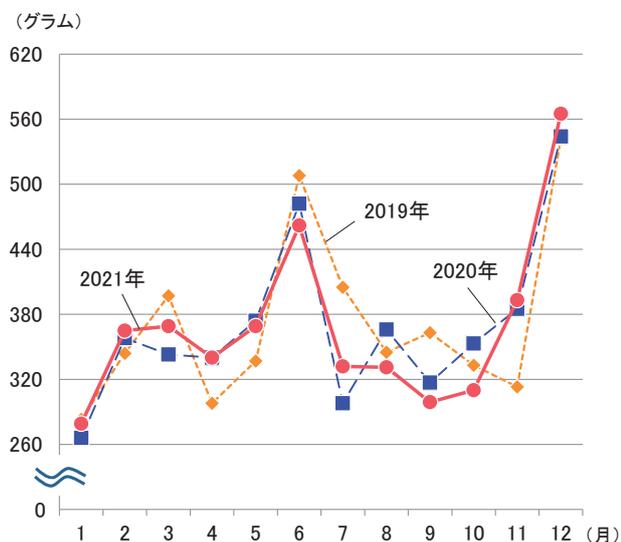
総務省「家計調査」によると、2021年12月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は52、1世帯（二人以上）当たりの支出金額は132円（前年同月比3.6%安、前月比36.1%高）であった（図14）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、565グラム（同3.9%増、同43.8%増）であった（図15）。

図14 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図15 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」